

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		2025年3月25日		
ひかりの家学園 保育所等訪問支援		利用児童数		2025年3月25日 回答数 13		
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11	2		・わかりやすかった。 ・情報を共有したり気づけなかったことに気づいてアドバイスをいただけた。心強く感じている。 ・発達段階に応じた活動内容や指導法などを教えてもらい助かった。	・保護者の心配事やご希望を聞き取り、先生と共有し支援にあたるようにしていきます。 ・話し合いの時間が取れない場合は電話でお願いしています。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	12	1		・経験上の知識技術を沢山ご指導いただきありがたかった。 ・行動観察の後の話し合いでこれからの課題などもわかってよかった。	・回答することができなくても児童の状況をどうとらえるか意見交換し訪問の度にみられる児童の成長も確認しながら保護者の心配事等についても共有し支援の方向と一緒に考えていけるようにしていきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	11	2		・適切に回答してくれた。 ・発達段階に応じてでてくる課題にその都度一緒に考えてくれた。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	12	1		・解消するまでいかなくても話をすることで楽になった。 ・多数の困りごとが解消され児童の課題の把握・取り組みができた。 ・児童の様子を見守ってもらい本人らしくいれればよいことを再確認できた。 ・進学や放デイ利用について適切なアドバイスをしてくれた。 ・3月の関係者会議で保護者の心配事や願いがはっきりわかったので今後の支援に生かせそうだった。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	12	1		・保護者の安心感につながっている。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・いつも丁寧にみていただき、いろいろなお話を聞かせてもらうことで、日々の実践にも繋げることができている。今後も児童の成長と一緒に見守ってほしい。 ・学校と保護者の間をつないでいただき、学校とは違う立場から話をしていただきありがたかった。 ・訪問支援を利用する児童が年々増加し、一人一人についてゆっくりご指導いただきたいが、その時間の確保が難しいのが課題である。 ・学期に1～2回の訪問ではその姿を保護者に伝えるという目的以外はなかなか難しいと感じる。コロナ渦が開け授業参観の機会が適度にある現在、上記の目的は十分達成できていると感じる。貴重な財源をより有効に活用するため今一度年度ごとに見直して頂きたいと思う。				・今後も児童の状況を共有し共通理解に努め保護者と園、学校との間を繋げられるように丁寧な支援を心がけてまいります。 ・保護者の心配事や児童の課題の共有に努め、訪問時の行動観察はそれに応じた場面を見せていただけるように訪問先とも調整していきたいと思います。 ・児童の状況を見ながら訪問回数を決めています。学期に1回だからこそその間の成長が見られることもあり、保護者にそれを報告することで一緒に喜ぶことができ保護者の安心感につながっていることもあります。しかし、状況が安定していることについては訪問支援の終了も考えられる年度末あるいは受給者証の更新のタイミング等で保護者のご希望を確認するようにしています。		